

学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 平成 28 年 1 月 12 日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目 1 番 1 号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

ノロウイルスにご注意を！



ノロウイルスは、感染性胃腸炎や食中毒の原因となるウイルスのひとつです。ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、一年を通して発生していますが、毎年冬から春にかけて発生報告が増加します。日ごろから健康管理を行い、有症状者は医療機関へ受診するとともに、施設内の発生の状況を把握し、感染拡大防止に努めましょう。感染性胃腸炎は、高齢者、乳幼児では重症化するおそれがあるので、注意が必要です

1. ノロウイルスの特徴

＜潜伏期間＞ 感染してから発病まで、1～2日（短くて数時間）

＜主な症状＞

- ・下痢、おう吐、吐き気、腹痛、微熱が1～2日続く（症状がひどい場合には、脱水症状を起こす事もある）
- ・通常は軽症で、症状が1～3日続いて回復するが、乳幼児、高齢者、もともと病気がある方など抵抗力の弱い方が発病すると重症化することもある。

2. 感染経路

＜人からの感染＞ 患者の便や嘔吐物からの二次感染、家庭や施設内などでの飛沫感染

＜食品からの感染＞ 感染した人が調理をして汚染された食品、ウイルスの蓄積した加熱不十分な食品

3. 感染予防のポイント

☆手洗い

- ・ノロウイルスによる感染予防の基本は手洗いです。トイレの後、調理や食事の前、帰宅後等は石けん(液体石けんが推奨されている)を使って、流水で、手指から手首までしっかり洗いましょう。



☆食中毒の予防

- ・加熱して食べる食材は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心温度を85℃から90℃で90秒間以上の加熱）
- ・調理器具や調理台は、いつも消毒して清潔にしましょう。

（洗剤などで十分に洗浄後、熱湯消毒するか家庭用塩素系漂白剤を250倍に希釈したものに浸漬する）

☆嘔吐物、便の処理

- ・処理する人以外が感染しないよう、処理が終わるまで、その場から遠ざけましょう。
- ・処理する場合は必ずゴム手袋、マスクを着用しましょう。
- ・嘔吐物や便はすぐにふき取り、乾燥させないようにしましょう。（50倍に薄めた家庭用塩素系漂白剤を浸したペーパータオル等で静かに拭き取る。）
- ・嘔吐物や便を拭き取った後の床等は周囲を含めて50倍に薄めた家庭用塩素系漂白剤を浸したペーパータオル、布等で拭き消毒しましょう。
- ・処理に使用したゴム手袋やマスクなどはゴミ袋に入れて密封し、廃棄しましょう。
- ・嘔吐物や便の処理を行った後は石けん(液体石けんが推奨されている)を使って、流水で、手指から手首までしっかり洗いましょう。
- ・手洗い後のタオルは共用せずペーパータオルを使用しましょう。



※嘔吐物や便が付着した衣類を、学校園で多くの人が使う手洗い場等で洗うと、感染拡大の原因となる場合があります。保健所からも、嘔吐物や便で汚れた衣服は、洗わずに持って帰ってもらうよう指導されていますので、ビニール袋に入れて密封し、可能であれば廃棄するか、保護者の方に持って帰ってもらってください。

【参考資料】

- ・東大阪市保健所 <http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000002011.html>
- ・大阪府保健医療室医療対策課 <http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/osakakansensho/kansenseiichoen.html>
- ・厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/norovirus/>
- ・平成 27 年 11 月 13 日付 教職員課事務連絡「感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの感染予防対策の啓発について」
(通知)

モノづくり体験教室

モノづくり体験教室は、「次世代を担う子どもたちに、モノづくりの啓発を推進する」を目標とし、東大阪市経済部モノづくり支援室が東大阪地域活性化支援機構(NPO 東大阪)に事業委託しています。地域の民間企業から講師を招き、平成14年度より希望小学校を対象に実施しており、今年度は、13講座の開設となりました。

各学校からたくさんの応募があり、総数は30校5,832人となりました。応募多数の講座もみられ、一部希望通り実施できなかった学校もありましたが、今年度行われた「モノづくり体験教室」を紹介させていただきます。

今年度の実施講座＜全13講座＞

- ワイヤーアート ○ひな人形工作 ○紙すき ○紙袋製作 ○磁石 ○ねじ ○エコ製品
- 工具 ○ねじの仕組み ○鉄工所と町おこし ○グッズ工作 ○工具と木工工作 ○めっき・ダーツ

＜エコ製品＞森河内小



株式会社アドバンスの方を講師にお迎えし、まずは「モノづくりのまち東大阪」についてのお話を聞きました。モノづくり体験では、電子てんびんで正確に測定した粉末と専用の液体をペットボトルに入れ、振りながら混ぜることでエコ洗剤の水溶液をつくりました。

＜工具と木工工作＞弥刀小



喜一工具株式会社の方を講師にお迎えしました。工具の歴史等について、プレゼンテーションソフトを使ってクイズを交えながらわかりやすく説明していただきました。モノづくり体験では、工具の使い方の講習を受けた後、班ごとに協力して木工おもちゃ(飛行機)をつくりました。

中河内地区三市(東大阪市・八尾市・柏原市)による授業改革実践交流会

12月18日(金)、中河内地区三市合同の授業改革実践交流会(指導方法の工夫改善〈少人数指導〉部会)が八尾市役所内会議室で開催されました。習熟度別指導をはじめ、きめ細かな指導に取り組んでいる学校の実践を交流することにより、授業改革の一層の推進と充実を図るとともに、新しい指導方法のあり方について研究討議する場として、毎年、三市合同で行っているものです。各市からそれぞれ実践報告が行われ、本市からは孔舎衛東小学校より、算数科(5年生)における



学年3クラスを4分割した習熟度別少人数授業の取組みについて報告がありました。单元ごとに行うクラス編成の工夫や学年での連携方法など、参加者にとって大いに参考となりました。その後、日々の指導で工夫していることの交流を行い、最後に、大阪府教育センター指導主事 光岡裕子さんより「新しい時代にめざすべき学習のあり方について」と題してご講演いただきました。

＜教職員の感想(アンケートより)＞

- ・様々な学校の具体的な取組みや工夫などを交流することができ、とても参考になりました。子どもたちにとってよりよい授業になるように、今日の学びを日頃の授業にいかしていきたいと思います。